



## 平成23年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月1日

上場会社名 株式会社伊藤園

上場取引所 東

コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 佐藤 郁尚

TEL 03-5371-7197

四半期報告書提出予定日 平成22年12月15日

配当支払開始予定日

平成23年1月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年4月期第2四半期の連結業績(平成22年5月1日～平成22年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第2四半期	194,581	8.4	12,153	32.7	11,212	28.7	5,927	26.1
22年4月期第2四半期	179,506	△1.1	9,161	28.6	8,713	22.6	4,701	47.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第2四半期	46.52	46.38
22年4月期第2四半期	36.37	36.26

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第2四半期	190,305	102,563	53.8	827.00
22年4月期	179,846	100,455	55.8	808.37

(参考) 自己資本 23年4月期第2四半期 102,466百万円 22年4月期 100,316百万円

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	19.00	—	19.00	38.00
23年4月期	—	19.00	—	—	—
23年4月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

(注)上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については以下(参考)をご覧ください。

### 3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,300	5.8	15,000	20.5	13,700	17.3	7,000	16.7	53.80

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年4月期2Q 91,212,380株 22年4月期 91,212,380株

② 期末自己株式数 23年4月期2Q 1,999,855株 22年4月期 2,008,298株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年4月期2Q 89,208,115株 22年4月期2Q 89,198,009株

（注）上記の発行済株式数は普通株式に係る発行済株式数であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については以下（参考）をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年4月期第2四半期	51	52	51	38
22年4月期第2四半期	41	37	41	26

	1株当たり純資産	
	円	銭
23年4月期第2四半期	832	00
22年4月期	813	37

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間			
	円	銭	円	銭	円	銭		
22年4月期	—	24	00	—	24	00	48	00
23年4月期	—	24	00					
23年4月期(予想)			—	24	00	48	00	

(3) 連結業績予想における第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
通期	63	80

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

- |                     |          |             |          |             |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年4月期2Q | 35,246,962株 | 22年4月期   | 35,246,962株 |
| ② 期末自己株式数           | 23年4月期2Q | 765,667株    | 22年4月期   | 568,862株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 23年4月期2Q | 34,501,866株 | 22年4月期2Q | 35,224,527株 |

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善により、個人消費の持ち直しの動きが一部見られるものの、雇用情勢は厳しく、本格的な回復基調までは及ばず、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、依然として物価下落が続いておりますが、全国的には記録的な猛暑となり、販売数量は好調に推移しております。

このような状況のなか、当社は経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社を取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でも何を不満に思っているか」を常に考え、全社一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

売上に関しましては、日本茶飲料において「お〜いお茶 緑茶」、紅茶飲料において「TEAS' TEA NEW YORK」、コーヒー飲料において「TULLY'S COFFEE BARISTA'S CHOICE」が好調に推移したほか、野菜飲料が販売を伸ばしました。

その結果、売上高の総額は1,945億81百万円（前年同期比8.4%増）と増加し、利益面におきましては、各種経費の見直しを行うとともに効率的な経営を行い、営業利益121億53百万円（前年同期比32.7%増）、経常利益112億12百万円（前年同期比28.7%増）、当期純利益59億27百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,903億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して104億59百万円増加いたしました。総資産の主な変動要因は、「現金及び預金」が63億92百万円、「商品及び製品」が18億54百万円、有形固定資産の「リース資産」が25億63百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は877億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して83億51百万円増加いたしました。負債の主な変動要因は、「買掛金」が21億88百万円、「リース債務」が26億24百万円、「未払法人税等」が13億46百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,025億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億7百万円増加いたしました。純資産の主な変動要因は、四半期純利益により59億27百万円増加し、剰余金の配当により25億27百万円、為替換算調整勘定が7億51百万円それぞれ減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.8%から53.8%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、138億5百万円の収入となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益107億26百万円、減価償却費42億38百万円、仕入債務の増加22億97百万円であるのに対し、減少要因として棚卸資産の増加17億90百万円、売上債権の増加13億55百万円、法人税等の支払額33億37百万円であったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億65百万円の支出となりました。これは主に設備投資による支出13億66百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、57億22百万円の支出となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済28億13百万円、配当金の支払25億21百万円それぞれ支出があったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して63億92百万円増加し、251億88百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当面は景気回復の弱めの動きが見込まれるものの、海外経済の改善や各種の政策効果を背景に、景気が緩やかに持ち直していく動きがでてくるものと思われれます。

また、飲料業界におきましては、一層の競争激化が予想されます。

当社グループといたしましては、「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」の製品開発コンセプトを基本に、厳格な品質管理のもと、積極的に新製品の開発を行うとともに、費用対効果を検証しつつ効果的にマーケティング費用を投下し、飲料市場におけるシェア向上を図ってまいります。

なお、通期の連結業績予想数値の修正要因につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりです。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### ・棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末における棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

##### ・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ②特有の会計処理

##### ・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は21百万円、税金等調整前四半期純利益は2億89百万円減少しております。

#### ②「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,188	18,795
受取手形及び売掛金	35,679	34,466
商品及び製品	17,926	16,072
原材料及び貯蔵品	6,895	7,127
その他	12,187	12,066
貸倒引当金	△124	△125
流動資産合計	97,752	88,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,864	14,720
土地	13,960	13,941
リース資産(純額)	22,265	19,702
その他(純額)	4,591	4,445
有形固定資産合計	55,682	52,810
無形固定資産		
のれん	13,269	13,944
リース資産	122	144
その他	9,189	9,870
無形固定資産合計	22,581	23,959
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	14,289	14,674
固定資産合計	92,553	91,444
資産合計	190,305	179,846
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,271	25,083
短期借入金	310	310
リース債務	6,241	5,116
未払費用	14,806	14,243
未払法人税等	4,879	3,532
賞与引当金	3,519	2,573
その他	1,682	1,681
流動負債合計	58,711	52,541
固定負債		
長期借入金	3,302	3,457
リース債務	18,054	16,554
退職給付引当金	4,589	4,268
その他	3,084	2,569
固定負債合計	29,030	26,849
負債合計	87,742	79,390

(株)伊藤園(2593) 平成23年4月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	20,259
利益剰余金	76,479	73,095
自己株式	△5,522	△5,348
株主資本合計	111,127	107,917
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80	329
繰延ヘッジ損益	△17	41
土地再評価差額金	△6,260	△6,260
為替換算調整勘定	△2,463	△1,712
評価・換算差額等合計	△8,660	△7,601
新株予約権	7	11
少数株主持分	89	128
純資産合計	102,563	100,455
負債純資産合計	190,305	179,846



(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)
売上高	179,506	194,581
売上原価	91,520	100,012
売上総利益	87,986	94,569
販売費及び一般管理費	78,825	82,416
営業利益	9,161	12,153
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	27	26
持分法による投資利益	8	29
その他	156	123
営業外収益合計	203	187
営業外費用		
支払利息	356	468
為替差損	191	588
その他	103	70
営業外費用合計	651	1,127
経常利益	8,713	11,212
特別利益		
固定資産売却益	2	—
固定資産受贈益	2	53
ゴルフ会員権退会益	—	36
特別利益合計	4	90
特別損失		
固定資産廃棄損	36	25
減損損失	30	48
投資有価証券評価損	13	228
ゴルフ会員権評価損	22	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	268
その他	0	4
特別損失合計	104	576
税金等調整前四半期純利益	8,614	10,726
法人税等	3,880	4,809
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,916
少数株主利益又は少数株主損失(△)	31	△10
四半期純利益	4,701	5,927

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,614	10,726
減価償却費	3,088	4,238
減損損失	30	48
のれん償却額	470	466
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△95	11
賞与引当金の増減額(△は減少)	480	946
退職給付引当金の増減額(△は減少)	281	321
受取利息及び受取配当金	△38	△34
支払利息	356	468
為替差損益(△は益)	63	310
持分法による投資損益(△は益)	△8	△29
固定資産受贈益	△2	△53
固定資産廃棄損	36	25
投資有価証券評価損益(△は益)	13	228
売上債権の増減額(△は増加)	△707	△1,355
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,517	△1,790
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	268
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,362	△255
その他の固定資産の増減額(△は増加)	107	△59
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,301	2,297
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,240	477
その他の流動負債の増減額(△は減少)	708	419
その他	55	△101
<b>小計</b>	<b>13,241</b>	<b>17,576</b>
利息及び配当金の受取額	44	37
利息の支払額	△356	△471
法人税等の支払額	△1,304	△3,337
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>11,623</b>	<b>13,805</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,440	△6
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,195	△1,366
有形及び無形固定資産の売却による収入	33	1
有形固定資産の除却による支出	—	△5
長期前払費用の取得による支出	△81	△17
関係会社株式の取得による支出	△902	—
その他	297	28
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,289</b>	<b>△1,365</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,177	—
長期借入れによる収入	2,800	—
長期借入金の返済による支出	△55	△155
自己株式の取得による支出	△4	△195
自己株式の処分による収入	1	1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,717	△2,813
配当金の支払額	△2,532	△2,521
少数株主への配当金の支払額	△52	△28
その他の支出	△3	△10
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△386</b>	<b>△5,722</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△324
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>5,930</b>	<b>6,392</b>
現金及び現金同等物の期首残高	13,988	18,795
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>19,918</b>	<b>25,188</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,965	155,608	9,933	179,506	-	179,506
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	13,965	155,608	9,933	179,506	-	179,506
営業利益	2,087	17,255	590	19,933	(10,771)	9,161

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、茶葉(リーフ)関連、飲料(ドリンク)関連、その他に区分しております。

2 各事業の主な製品及び商品

(1) 茶葉(リーフ)関連事業……………緑茶・ウーロン茶等の茶葉(リーフ)製品

(2) 飲料(ドリンク)関連事業……………日本茶・中国茶・野菜・果実・コーヒー・紅茶・機能性等の飲料(ドリンク)製品

(3) その他の事業……………上記以外の製品及び仕入商品、食材等

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に国内外でリーフ・ドリンクの製造、仕入及び販売をしており、その他に飲食事業等を展開しております。したがって、当社の報告セグメントは「リーフ・ドリンク関連事業」及び「その他」から構成されております。

「リーフ・ドリンク関連事業」は、国内外におけるリーフ（緑茶・ウーロン茶等の茶葉製品）・ドリンク（日本茶・中国茶・野菜・果実・コーヒー・紅茶・機能性等の飲料製品）等の製造、仕入、販売を行っております。

「その他」は、飲食店の経営及びフランチャイズによる飲食店の運営等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)

	リーフ・ドリンク 関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書計上額 (百万円)
売上高				
(1) 外部顧客に 対する売上高	185,377	9,204	-	194,581
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	110	1,378	△1,489	-
計	185,488	10,582	△1,489	194,581
セグメント利益 又は損失(△)	11,699	880	△427	12,153

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額△445百万円、セグメント間取引17百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。